

多様な連携による地域文化発信事業

平成 25 年度当初予算要求額 21,000 千円
(県費 10,500 千円、国庫補助金 10,500 千円)

1 事業の目的

平成 25 年度は、20 年に一度の式年遷宮の年であり、このチャンスを生かして、文化交流ゾーンを構成する施設等が連携・協働し、「伊勢」を統一テーマとしたさまざまな取組を夏から秋にかけて集中的に行い、三重の持つ多様な文化の魅力を県内外に発信することにより、本県の認知度と集客の向上を図る。

2 全体スケジュール

		7月	8月	9月	10月	11月	12月
知を創造するシンポジウム	博物館				①「伊勢をめぐる人・モノ・文化の交流」		
	図書館					②「千三百年システム～遷宮の意味を考える～」	
	斎宮歴史博物館					③「伊勢・出雲・飛鳥研究の最前線」	
地域の魅力を再発見する展覧会	斎宮歴史博物館		④「神郡の歴史と文化」			③「島根県・奈良県・三重県交流展示」	
	図書館					③「島根県・奈良県・三重県交換展示」	
	美術館					⑤「新伊勢物語～伊勢に美術ありけり～」	
三重の魅力を発信する講座・セミナー	生涯学習センター 図書館			⑥「みえミュージアムセミナー」			
	図書館	⑦「大都市圏連続セミナー」					
	全施設	⑧「営業拠点を活用した「文化情報PR講座」					
人と人をつなぐ演劇・上映	文化会館				⑨「真夜中の弥次さん喜多さん」		
	文化振興課 図書館				⑩「お伊勢まいり」		

3 事業の概要

(1) 知を創造するシンポジウム

4,543 千円

伊勢をめぐるさまざまな交流や式年遷宮をテーマにした基調講演、パネルディスカッションなどからなるシンポジウムを開催する。

①「伊勢をめぐる人・モノ・文化の交流(仮題)」

・事業概要

三重の地は東西交流の結節点であり、全国から大勢の人々がお伊勢まいりに訪れたことから、人やモノ、文化の交流が盛んに繰り広げられてきた。このシンポジウムでは、伊勢をめぐる人・モノ・文化交流をテーマに、基調講演や県立博物館・県立美術館・斎宮歴史博物館の学芸員の報告、講演者・学芸員による対談を行う。

・主催：県立博物館

・日時：平成 25 年 10 月 6 日（予定）

・場所：三重県総合文化センター 小ホール

②「千三百年システム～遷宮の意味を考える～(仮題)」

・事業概要

伊勢志摩地域の市町立図書館等との共催により、国内外の知見から式年遷宮という制度を通して伊勢の文化のあり方を考える機会として、シンポジウムを開催する。

- ・主催：県立図書館 共催：伊勢市立図書館ほか（未定）
- ・日時：平成 25 年 11 月 23 日（未定）
- ・場所：伊勢市内（未定）

③「伊勢・出雲・飛鳥研究の最前線（仮題）」

・事業概要

島根県、奈良県と連携し、有名研究者による「伊勢・出雲・飛鳥」についての基調講演を行うとともに、島根県立古代出雲歴史博物館、奈良県立万葉文化館の県立 3 館の学芸員が集い、最新研究成果とその魅力を語る。

また、併せて島根県、奈良県の両県立図書館との連携により、それぞれの県の魅力を紹介する交換展示を行う。

- ・主催：斎宮歴史博物館、県立図書館 共催：島根県、奈良県、生涯学習センター
- ・日時：平成 25 年 11 月 16 日～12 月 14 日（シンポジウムは 12 月 14 日）（未定）
- ・場所：【シンポジウム】三重県総合文化センター 多目的ホール
【県外交流展示】斎宮歴史博物館 【県外交換展示】県立図書館

（2）地域の魅力を再発見する展覧会

5,100 千円

伊勢神宮と密接な関わりを持つ「神三郡」の歴史と文化をテーマにした展覧会や伊勢地方の風景を主題とした美術展を開催する。

④「神郡の歴史と文化（仮題）」

・事業概要

斎宮や伊勢神宮のある多気郡・度会郡・飯野郡は、神三郡といわれ、神宮と密接な関わりを有していた。この地域のいにしえの世界を、関係市町村の考古学的な資料から紹介する。また、南伊勢地域と県内外諸地域との文化交流について、さまざまな資料から探る。

- ・主催：斎宮歴史博物館
- ・日時：平成 25 年 7 月 20 日～9 月 1 日（予定）
- ・場所：斎宮歴史博物館

⑤「新伊勢物語～伊勢に美術ありけり～（仮題）」

・事業概要

県立美術館の所蔵する伊勢地方の風景や景物を主題とした作品等を伊勢市にて移動展示することにより、「伊勢」の魅力を再発見し、その魅力を発信する。また、同時期に「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」の福井県、奈良県と連携し、両県所蔵作品を常設展示室において展示する。

- ・主催：県立美術館
共催：【県外交流展示】奈良県、福井県 【移動展示】民間美術館（未定）
- ・日時：平成 25 年 11 月 6 日～12 月 1 日（未定）
- ・場所：【県外交流展示】県立美術館 【移動展示】伊勢市内（未定）

（3）三重の魅力を発信する講座・セミナー

3,205 千円

せんぐう館など県内のミュージアムとの協働によるセミナーや東京・大阪に出向いての 3 ヶ月連続セミナーを実施するなど三重の魅力を PR する。

⑥「みえミュージアムセミナー」

・事業概要

式年遷宮を記念して造られた「せんぐう館」や石水博物館、本居宣長記念館、パラミタミュージアム、海の博物館、斎宮歴史博物館と共同し、各館の学芸員による学習講座や写真資料等を使ったミニ展示等を行うことで、各館で開催される特別展や企画展への新規観覧者の流れを創り出す。また、首都圏営業拠点等において「先取りセミナー」を実施し、県外からの集客向上を図る。(県内6回、東京6回)

- ・主催：三重県生涯学習センター、県立図書館 共催：民間の博物館等
- ・日時：平成25年8月31日～12月27日(未定)
- ・場所：首都圏営業拠点等、三重県総合文化センター

⑦「大都市圏連続セミナー」

・事業概要

カルチャーセンターとの共催により、互いの強みを生かしながら、伊勢あるいは遷宮等をテーマに、東京と大阪を会場に、それぞれ3か月連続でさまざまな分野、視点からセミナーを開催する。

- ・主催：県立図書館 共催：(調整中)
- ・日時：平成25年7月～9月(未定)
- ・場所：東京、大阪(カルチャーセンター教室)

⑧営業拠点等を活用した「文化情報PR講座」

・事業概要

県立の博物館、美術館、斎宮歴史博物館の学芸員等が、首都圏営業拠点等において、三重の多彩な魅力を全国に向け情報発信する。(合計6回)

- ・主催：県立図書館、県立博物館、県立美術館、斎宮歴史博物館、文化会館、生涯学習センター
- ・日時：平成25年8月～11月(未定)
- ・場所：首都圏営業拠点等

(4) 人と人をつなぐ演劇・上映

3,000千円

伊勢神宮のおかげ参りを素材にした小劇場演劇作品の上演と三重そうぶんシネマスクエアでの映画作品の上映等を行う。

⑨「真夜中の弥次さん喜多さん」

・事業概要

式年遷宮を記念し、地元伊勢にまつわる文化会館公演として、伊勢神宮のおかげ参りを題材として10年以上にわたり再演が繰り返されている不朽の名作『KUDAN Project「真夜中の弥次さん喜多さん」(しりあがり寿氏原作)』を上演する。また、同時に、宮藤官九郎監督の映画作品を三重そうぶんシネマスクエアで上映する。(演劇は2日3公演)

- ・主催：三重県文化会館
- ・日時：平成25年9月21日～9月22日(予定)
- ・場所：三重県総合文化センター 小ホール

⑩「お伊勢まいり」

- ・事業概要

文化振興課が所蔵する昭和 28 年制作の県の観光映画「お伊勢まいり」のDVDを会場入り口で上映するとともに、県立図書館により関連図書や資料等の展示を行う。

- ・主催：文化振興課、県立図書館
- ・日時：平成 25 年 9 月 21 日～9 月 22 日（予定）
- ・場所：三重県総合文化センター 小ホール前

4 施設間の連携

5,152千円

各イベント時においては、大型ディスプレイ（MLA連携検索システム）等を活用し、各施設のPRを行うとともに、他の施設内においても関連テーマのパネルや図書などを展示する。また、シンポジウムにおいては、博物館、美術館、斎宮歴史博物館の学芸員と記念講演者によるパネルディスカッションや新県立博物館の施設特別公開を実施するなど、各施設の連携による相乗効果や集積効果を高める。

さらに、観光・国際局と連携しながら、各イベントを掲載した総合パンフレットやチラシを作成するとともに、スタンプラリーを実施する中で展覧会の招待券や三重の特産品等をプレゼントするなど、集客力アップと参加者の満足度向上を図る。

5 多様な主体との連携

島根県、奈良県との博物館連携や福井県、奈良県との美術館連携など近隣県との交流促進を図るとともに、伊勢地域の市町立図書館や民間の博物館など多様な主体と連携・協働し、地域の文化活動の促進を図る。

6 関係部局との連携

三重県営業本部関係課長等と当事業の情報共有を行うとともに、首都圏で実施される事業の連携についての調整を行っている。

今後、各イベントを具体的にプランニングする中で、営業拠点等の活用や観光誘客につながる仕組みについて、積極的に取り入れるよう検討する。

（首都圏営業拠点活用例）

- ・三重県生涯学習センターによる「ミュージアムセミナー」
- ・県立博物館、美術館、斎宮歴史博物館の学芸員等による三重の文化PRの講座

（観光・国際局や地域連携部との連携例）

- ・スタンプラリーの実施や総合パンフレットの作成
- ・島根県、奈良県との連携による観光PR
- ・熊野古道伊勢路世界遺産登録10周年事業との共同PR

文化活動連携事業費（文化振興方針策定経費）

平成 25 年度当初予算要求額 6,000 千円

1 文化振興方針の見直しの趣旨

現在、県の文化振興施策は、平成 20 年 3 月に策定した「三重の文化振興方針」に沿って推進している。

しかし、近年の文化行政を取り巻くさまざまな環境の変化や新博物館整備の進捗などを踏まえ、今後、より良い文化コンテンツを継続して効率的・効果的に県民の皆さんに提供し、郷土三重に対する愛着や誇りを醸成していくために、文化行政のあり方を幅広い視点から見直すこととする。

なお、新しい文化振興の方針については、平成 26 年度からのおおむね 10 年先を見据えたものとして、平成 25 年度内に策定するものとする。

2 見直しの論点

- ① 文化分野における行政の役割、広域自治体である県の役割はどうあるべきか。
- ② 県のセンター施設として博物館、美術館、文化会館などの機能をどう強化するか。（文化交流ゾーンの機能強化）
- ③ 県は文化振興のどのような分野に注力していくか。（例えば次世代育成等）
- ④ 教育・ものづくり・観光など他の分野、政策の価値を高めるために文化はどのように連携していくか。

3 見直しの工程

平成 25 年 3 月まで	準備行為（予算要求、審議会委員候補者の選定、これまでの文化行政の振り返り、論点に対する先進事例、他県の文化行政の状況等）
平成 25 年 4 月～6 月	文化審議会① 諮問、構成・論点について 議会への報告（6 月定例会） 文化審議会② 有識者等からのヒアリング 県民意識調査 市町等の意向調査
平成 25 年 7 月～9 月	文化審議会③ 中間案の取りまとめ 議会への報告（9 月定例会） 市町意見交換
平成 25 年 10 月～12 月	パブリックコメント モニターアンケート 中間案に基づく有識者等との意見交換 文化審議会④ 最終案取りまとめ 議会への報告（11 月定例会）
平成 26 年 1 月～3 月	方針案の答申、方針公表

4 外からの視点の反映に関する考え方

(1) 審議会委員候補の選定

本県の文化振興施策に対し、以下のような視点から総合的・俯瞰的な助言をいただける候補者を選定することとし、委員の選定に着手したい。

- ・ 文化行政を取り巻く社会環境の変化
- ・ 三重県に対する愛着や誇りの醸成
- ・ 文化・生涯学習施設の効果的な活用
- ・ 文化資源を生かした情報発信力の強化
- ・ 文化の担い手育成
- ・ 県民ニーズの把握と事業展開への反映
- ・ 文化資源を生かしたまちづくり

(2) 県民意識調査などの広聴

県の文化振興施策に対する県民、市町等の意向を幅広く把握し、審議会の議論に資するため、中間案策定に先立って県民意識調査等を行うとともに、中間案策定後にはモニターアンケート、パブリックコメントを実施する。

なお、県民意識調査については、県民の文化に対する関心、関わりの度合、行政（県や文化施設）に対するニーズなどを把握することを目的とし、今後、具体的に詳細を検討する。

文化振興方針の策定スケジュール(案)

	県議会	県民・市町	文化審議会	県
平成25年 2月				<ul style="list-style-type: none"> ・委員候補者の選定 ・成果の確認と検証 ・先進事例の調査 ・他県の状況調査
平成25年 3月				
平成25年 4月			委員委嘱	関係部局検討会議
平成25年 5月			第1回審議会 ・諮問	
平成25年 6月	6月定例会 常任委員会 ・策定方針報告	市町等意向調査 県民意識調査	有識者等ヒアリング 第2回審議会 ・中間案検討	関係部局検討会議
平成25年 7月				
平成25年 8月				関係部局検討会議
平成25年 9月			第3回審議会 ・中間案の取りまとめ	
平成25年 10月	9月定例会 常任委員会 ・中間案報告	市町意見交換 パブリックコメント eモニター	有識者等意見交換	関係部局検討会議
平成25年 11月			第4回審議会 ・最終案取りまとめ	
平成25年 12月	11月定例会 常任委員会 ・最終案報告			
平成26年 1月				関係部局検討会議
平成26年 2月			方針案答申	方針決定
平成26年 3月	2月定例会 常任委員会 ・方針案報告	方針公表		

事業概要

●細事業名：新県立博物館整備事業 計 1, 546, 440千円

(1) 新博物館施設整備事業 計 1, 484, 837千円

平成26年春の開館に向けて、建築工事や展示製作、施設の備品等の整備、情報システム整備、新博物館建物の管理運営、事務所・資料の移転などを行う。

①建築工事

昨年度に引き続き新博物館の建築工事を行う。

②展示製作

昨年度に引き続き新博物館の展示製作を行う。

③施設整備関係事務費

新博物館に必要な研究備品等を整備する。

④情報システム整備

館内の情報システム整備を行う。

⑤新博物館管理運営

竣工した新博物館を平成26年春の開館に向けて維持管理する。

⑥新博物館移転

竣工した新博物館へ現博物館及び県史編さんグループ所蔵資料、事務所機能を移転する。

⑦ミュージアムショップグッズ製作

新博物館ミュージアムショップで販売するグッズの一部を製作する。

(2) みんなでつくる新博物館推進事業 計 41, 256千円

開館前のイベントやさまざまな広報活動を展開することによって、新博物館に対する共感や期待感を幅広く喚起するとともに、MMM（みえマイミュージアム）プロジェクトやさまざまな県民参加型の組織の整備や多様な主体との連携の推進を通して、開館に向けて、“みんなでつくる博物館”の活動と運営のための組織や仕組みを構築する。

①見て！知って！新博物館

開館前のイベントや県民参加型のMMM（みえマイミュージアム）プロジェクトなどを効果的な時期に実施するとともに、幅広く広報活動を展開することによって、新博物館に対する共感や期待感の醸成を進める。

②連携推進事業

博物館活動を進めていく基盤として、多様な関係機関、団体との連携のための仕組みと環境を整備するための取組を推進する。

③県民との協創で築く新博物館事業

県民参画組織の整備を進めるとともに、みんなで作る博物館やこども会議、有識者による経営向上懇話会などを実施することにより、新博物館の活動と運営の構築に活かす。

(3) 企画展準備事業 計15,069千円

新博物館の開館にあわせて行う特別展や初年度に展開する企画展の準備を行う。

(4) 公文書館機能整備事業 計5,278千円

平成26年の新県立博物館における公文書館機能の一体化に向けて、歴史的資産として収集・保存してきた歴史的公文書や県史収集資料、寄贈資料等を新博物館に移管し、県民の利用に供することができるようにする。また、文献データの収集、市町との連携ネットワークによる所在情報収集、散逸・災害等の緊急時の対応・支援体勢づくりなど公文書館機能の整備を図る。

【事業効果】

- (1) 建築及び展示工事、情報システム整備を行うことにより、平成26年度開館に向けての着実な施設整備につなげる。
- (2) 県民参画組織の整備と県内博物館、大学、学校など多様な主体との連携の推進によって、開館後の運営及び博物館活動のための基盤づくりを進めることで、開館のための体制を整える。
- (3) 多様な広報活動を行うことにより、より多くの県民等に整備の進捗状況や新博物館の特色、博物館活動について理解を得て、博物館整備や博物館活動に参加、参画しようとする県民等の数が広がる。

【債務負担行為】

<平成26年度>

- ・ 昇降機等保守点検業務委託 (4,886千円)
- ・ 構内電話設備保守監理業務委託 (916千円)
- ・ ゴンドラ等点検整備業務委託 (573千円)
- ・ 新県立博物館広報キャンペーン業務委託 (6,209千円)

新県立博物館整備計画にかかる経費(120億円)の執行状況
 <平成25年度当初予算要求ベース>

(単位:千円)

事業名	当初計画	H23まで ※契約ベース	H24以降(見込)	計	当初計画 との差額	備考
		事業費	事業費			
(用地購入費)	2,440,000	2,393,423	277	2,393,700	46,300	用地購入、登記等
(建物) 設計	250,000	221,549		221,549	28,451	建築設計、測量等
工事	7,100,000	5,943,922	586,958	6,530,880	569,120	建築工事、外構工事、 ラック等購入等
工事監理費	110,000	98,104	3,310	101,414	8,586	
(展示) 設計	100,000	96,579		96,579	3,421	
工事	1,360,000	1,098,727	214,847	1,313,574	46,426	展示製作、展示先行工事 等
(情報システム) 設計	20,000	0	176,182	176,182	43,818	
工事	200,000	0				
(その他経費) 備品購入費	220,000		172,228	172,228	47,772	調査研究機器、事務機器 等
開業前事業費	200,000	60,247	85,858	146,105	53,895	みえマイミュージアム プロジェクト実施経費、みんな でつくる博物館会議開 催経費等
合計	12,000,000	9,912,551	1,239,660	11,152,211	847,789	

※当初整備計画に含まれていなかった経費

引越し	59,153
開館前広告	11,609
企画展準備	15,069
小計	85,831

(参考)

当初整備計画に含まれていなかった経費を含む場合

計	11,238,042	761,958
---	------------	---------